

逗子市総合計画

基本構想 2015-2038 (2022 年度一部改定)
中期実施計画 2023-2029 (2024 年度一部改定)

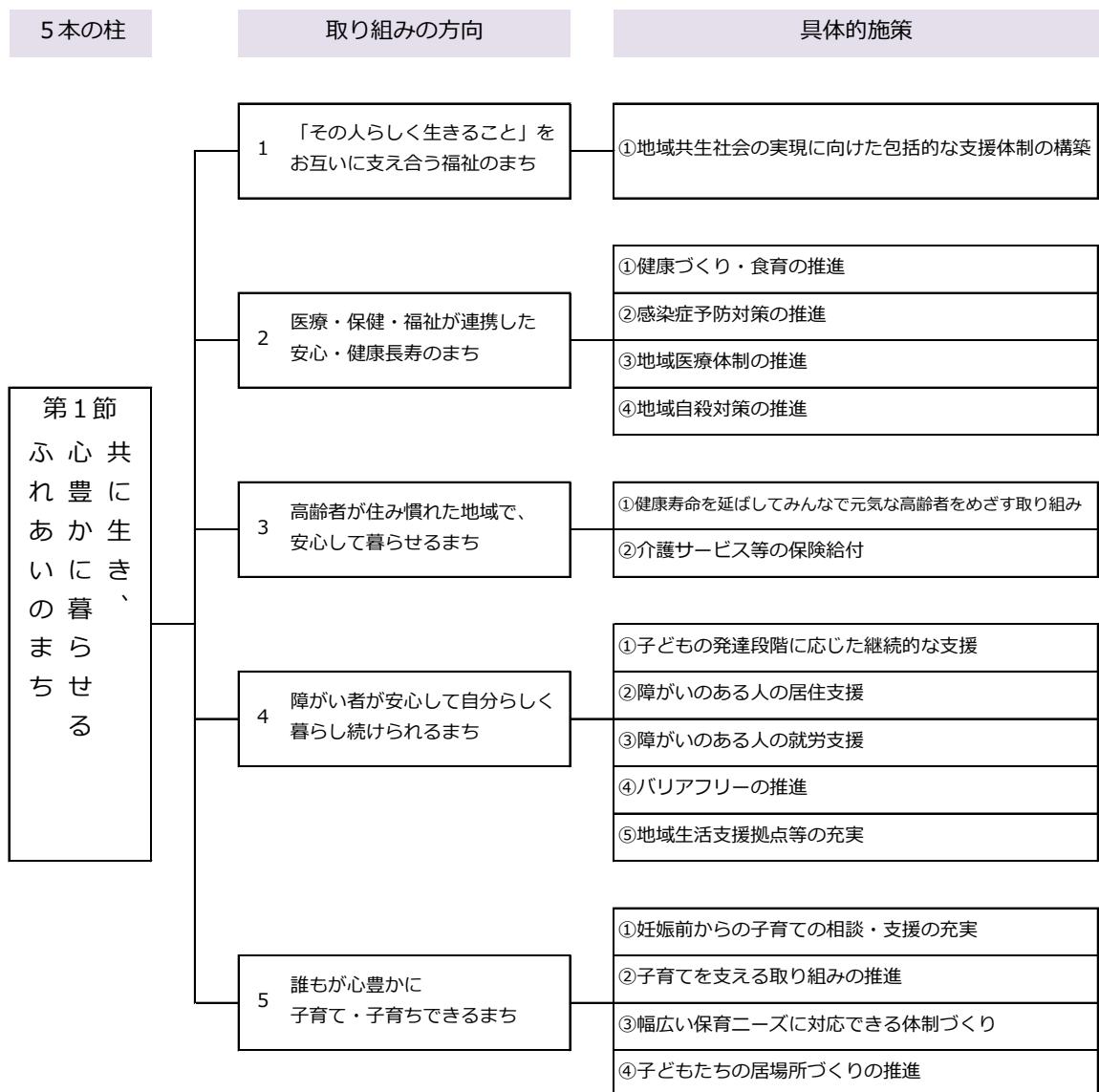
第3期 逗子市まち・ひと・しごと

創生総合戦略 (2025-2029)



第1節

共に生き、心豊かに暮らせる ふれあいのまち



基本構想 第1節 取り組みの方向 2

医療・保健・福祉が連携した安心・健康長寿のまち

戦略 1-1 ●若い世代が結婚・妊娠・出産・育児をしやすい環境づくりを進める。

戦略 4-2 ●市民同士のつながりを深め、安全安心のまちづくりを進める。

戦略 4-3 ●誰もがいつまでも健康でいきいきと暮らせるような環境づくりを進める。



歳を重ねても健康でいたいという思いはみんなの願いです。人生のうちで健康でいる期間が長ければ長いほど質の高い生活が送れます。

そのためには、市民一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」という自覚を持ち、自身の健康状態を的確に把握するとともに、家族みんなや仲間と楽しみながら健康づくりを続けることが重要です。

市民誰もが生涯を通じて活動的に生活できるように、市民が主体の健康づくり活動や地域で進める健康づくりを推進していきます。

また、健やかで安心して暮らしていくために、医療・保健・福祉の各分野の関係機関・団体との連携を強化し、誰もが身近なところで適切な医療を受けられるような地域医療体制が充実したまちをめざします。

◆ 具体的施策 ①

健康づくり・食育の推進

《現況・課題》

本市の高齢化率*は高く、今後も更なる高齢化が見込まれている。若い世代から健康への意識づけを行い、健康と長寿を確保できるように支援することで、医療費の適正化につなげ、生活の質を向上させる取り組みが求められている。また、各世代における栄養の偏りや過不足、不規則な生活習慣等の課題に対応するため、生涯にわたる食育の推進に取り組む必要がある。

◆ 重要業績評価指標(KPI)

【2029年度（令和11年度）】		現状
国民健康保険被保険者の1人当たり医療費の伸び率を、県平均以下に抑制している。		2017年度～2021年度の平均伸び率 2.5%
補足説明		
<ul style="list-style-type: none"> 医療費の伸び率は、過去5年の平均を用いる。 市は国民健康保険事業の保険者であることから、健康づくりの成果指標として医療費の伸び率を県平均以下に抑制することをめざすもの。 		

◆ 主な取り組み

取り組み①	健康増進・食育推進計画推進事業の展開		
説明	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり・食育の推進のため未病センターなど、様々な媒体を活用した情報発信及び健康・栄養相談や健康づくり出前講座などの普及啓発事業を実施する。 健康増進・食育推進計画懇話会を開催し、計画の進行管理及び推進を図る。 「逗子市健康増進・食育推進計画」に基づいて、関係機関等と連携し、健康づくりや食育、疾病予防の啓発事業を行う。 		
【参考】予算事業名	健康増進・食育推進計画推進事業	担当課	国保健康課

取り組み②	特定健診*・特定保健指導*の推進		
説明	<ul style="list-style-type: none"> 40歳から74歳までの国民健康保険加入者を対象とした特定健康診査を実施する。 健診結果から、必要な者に対し保健指導を行う。 データヘルス計画・特定健康診査等実施計画*に基づき、健康診査及び保健指導を実施する。 若い世代に対して健診・検診の受診啓発を行う。 		
【参考】予算事業名	特定健診・特定保健指導事業	担当課	国保健康課

取り組み③	女性のがん検診の充実		
説明	<ul style="list-style-type: none"> 女性に対して、集団・個別での検診を実施する。 無料クーポン券を発行し、受診を促進する。 		
【参考】予算事業名	成人等保健事業	担当課	国保健康課

第3編 実施計画

第3章 「わたしたちはこんなまちにしていく」を実現するために

取り組み④	「未病を改善する半島宣言」の推進		
説明	・健康寿命の更なる延伸と生活の質の向上をめざし、三浦半島4市1町が、特に保健・福祉分野において積極的に連携を図り、県の未病を改善する取り組みに参画する。		
【参考】予算事業名	健康増進・食育推進計画推進事業	担当課	国保健康課

◆ 具体的施策 ②

感染症予防対策の推進

《現況・課題》

新型コロナウイルス感染症をはじめ、インフルエンザや肺炎球菌などの感染症は、高齢者や基礎疾患のある方の重症化するリスクが高い。また、蔓延すると社会生活にも大きな影響を及ぼすため、感染症に関する情報の収集・発信を行い、感染症に罹患しないための予防行動や重症化を防止するための知識を普及し、必要な予防接種の実施を促進する必要がある。

◆ 重要業績評価指標(KPI)

【2029年度（令和11年度）】	現状（2022.3）
予防接種対象者への個別通知の送付率100%を維持している。	100%
補足説明	
予防接種は任意であり、対象者に正しい情報を周知する必要があることから、個別通知の送付率を指標とするもの。	

◆ 主な取り組み

取り組み①	感染症予防対策の推進		
説明	<ul style="list-style-type: none">・感染症の流行等について、情報の収集及び市民への周知を行い、注意喚起する。・具体的な予防行動の知識普及を行う。・予防接種がある感染症については、接種が促進されるよう環境を整える。		
【参考】予算事業名	成人等保健事業 感染症予防事業	担当課	国保健康課

◆ 具体的施策 ③

地域医療体制の推進

《現況・課題》

医療と介護を必要とする市民が、住み慣れた地域で安心して在宅療養ができるよう 在宅医療・介護連携相談室を設置した。今後も進む高齢化に伴い、在宅医療*の需要もさらに増えることが予測されることから、医療と介護のますますの連携強化が必要となる。そのためには、総合的病院の誘致を含む在宅医療の後方支援体制や救命救急体制の充実、災害時の医療提供機能の拡充、感染症対策など、地域医療体制の充実に向け、取り組む必要がある。

◆ 重要業績評価指標(KPI)

【2029年度（令和11年度）】	現状（2022.3）
「一番不便または不満に感じる事柄」について、「医療施設が整っていない」と回答する人の割合が20%以下になっている。	38.2%
補足説明	
「逗子のまちづくりに関する市民意識調査」等の結果に基づく。	

◆ 主な取り組み

取り組み①	在宅医療介護連携の推進		
説明	多職種による医療・介護連携支援体制の強化を図るため、逗葉地域在宅医療・介護連携相談室において在宅医療・介護サービスを提供している関係者からの相談・支援や対象者の支援に必要な、医療・介護等の情報提供、多職種連携会議や研修会などを開催する。		
【参考】予算事業名	在宅医療・介護連携推進事業	担当課	国保健康課

取り組み②	地域医療の充実		
説明	医師会・歯科医師会・薬剤師会・葉山町等で構成する、逗子・葉山地区医療保健福祉対策協議会で地域医療の充実に向けて連携強化等の検討を行う。 総合的病院の誘致を含めた今後の逗子の地域医療体制の充実に向けた検討を行う。 近隣病院の地域外部委員会等に参加するなど意思疎通を図り、市に必要な連携を要望する。		
【参考】予算事業名	地域医療充実事業	担当課	国保健康課

取り組み③	ICT 等の活用による救急体制の充実		
説明	・病院連絡や受入れ確認の時間の短縮を図るため、ICT を活用する。		
【参考】予算事業名	救急活動事業	担当課	消防総務課

◆ 具体的施策 ④

地域自殺対策の推進

《現況・課題》

平成 18 年に自殺対策基本法が制定され、自殺は個人の問題ではなく社会の問題であることが示された。平成 28 年には自殺対策基本法が改定され「生きるために包括的支援」としての自殺対策をすべての都道府県、市町村が自殺対策計画を策定し推進することとなった。

本市では、平成 31 年に逗子市自殺対策計画を策定し、「誰も自殺に追い込まれることのない逗子市」を基本理念とした。

◆ 重要業績評価指標(KPI)

【2029 年度（令和 11 年度）】	現状
自殺者数が 0 人になっている。	8 人（令和 3 年 1 月～12 月分）
補 足 説 明	
厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」に基づく。	

◆ 主な取り組み

取り組み①	地域自殺対策の推進		
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・逗子市自殺対策計画に基づき、生きることを支える人材の育成、市民への啓発・周知、地域・庁内組織間における連携の強化、生きることの促進要因への支援を推進する。 ・逗子市自殺対策計画は 5 年に 1 回の改定を行っていく。 		
【参考】予算事業名	自殺対策計画推進事業	担当課	国保健康課